

# 環境森林部

## 1. 部総括表

部名：環境森林部  
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
4-1	環境政策課	(28,885)	(28,256)		(629)	
		703,026	693,441	2,346	7,239	
4-2	環境管理課	(20,875)	(18,622)		(2,253)	
		741,335	701,169	2,477	37,689	
4-3	森林・林業政策課	(691,578)	(675,752)		(15,826)	
		2,519,973	1,993,999	494,822	31,152	
4-4	みどり保全課	(54,814)	(52,118)		(2,696)	
		382,598	346,002	28,213	8,383	
4-5	循環型社会推進課					
		425,370	407,421		17,949	
	部計	(796,152)	(774,748)		(21,404)	
		4,772,302	4,142,032	527,858	102,412	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：環境政策課  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-1-1	香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業	8,930	8,452		478	主要施策の成果の概要(4-1-1)に記載
4-1-2	環境政策推進事業	2,318	1,671		647	環境白書の作成のほか環境保全活動の推進に要する経費
4-1-3	脱炭素・地球温暖化対策事業	(28,885) 477,822	(28,256) 471,062	2,346	(629) 4,414	主要施策の成果の概要(4-1-3)に記載
4-1-4	国土利用計画法施行事務費	12,105	11,997		108	国土利用計画法施行事業経費等
4-1-5	給与費	192,601	192,026		575	環境政策課職員の給与費給料95,503、職員手当等61,215、共済費35,308
4-1-6	総務管理費	9,250	8,233		1,017	環境森林部の運営等に要する経費
	課計	(28,885) 703,026	(28,256) 693,441	2,346	(629) 7,239	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：環境政策課  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
環境政策課	22	[1] 3	[1] 25	愛媛県交流職員1名
合計	22	[1] 3	[1] 25	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[ ]内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>香川の環境を守り育てる地域づくり推進事業（4-1-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の豊かで美しい自然や快適な生活環境を将来に引き継いでいくため、環境を守り育てるための人づくりや地域づくりに取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 （1）かがわ未来へつなぐ環境学習会開催事業（3,755千円） 環境保全団体や県等が行っている「学びの場」の活動を幅広く紹介し、活動内容の一部を体験してもらうイベントを開催することで、環境への関心を高めるきっかけづくりを行った。</p> <p>（2）環境地域づくり情報発信事業（2,398千円） 多くの方々が環境保全等に興味を持ち、また、環境の保全に向けて行動するきっかけとなるよう、新聞記事やホームページ、SNSを活用して情報発信を行った。</p> <p>（3）地域における環境学習推進事業（1,601千円） 身近な場所で環境について学べる機会を提供するため、市町や民間団体、企業等と連携して、環境学習講座を開催したほか、環境活動団体交流会を実施した。</p> <p>（4）学校における環境学習推進事業（522千円） 児童や生徒の環境への関心を高めるため、本県独自の環境学習教材の活用を図るとともに、県職員等を学校等に派遣し出前講座を実施した。</p> <p>（5）次世代へつなぐ美しい香川推進事業（176千円） 環境を守り育てる地域づくりモデル活動団体を指定し、環境学習講座の開催や環境保全活動の企画・運営を支援した。</p> <p>（6）かがわ里海大学運営事業（5,071千円）（4-2-1 4に再掲） かがわ里海大学において各種講座を実施して里海について理解を広げ、里海づくりをけん引する人材を育成した。</p> <p>（7）里海ナビゲーション事業（366千円）（4-2-1 4に再掲） 県民が海に親しむきっかけとなるよう、里海づくり絵日記コンテストの実施など、県民の環境保全活動を促進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>環境保全活動や環境学習講座等への参加状況 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29.4 (R3.6 現在)</td> <td>35.9 (R6.6 現在)</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県と連携した市町・事業者・民間団体数</p> <table border="1" data-bbox="943 640 1401 797"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69</td> <td>90</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table> <p>新聞への掲載 3回 県が開設している環境分野のSNSのフォロワー数 3,478人</p> <p>地域における環境学習参加者数 1,120人</p> <p>体験型環境学習参加者数 51回 2,023人 環境キャラバン隊参加者数 32回 1,369人</p> <p>モデル活動団体として2団体を指定 ・高松市立東植田小学校 ・大手前丸亀中学・高等学校</p> <p>R5年度 かがわ里海大学修了者数 35講座 940人</p> <p>R5年度 かがわ「里海」づくり絵日記コンテスト応募者数 277人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	29.4 (R3.6 現在)	35.9 (R6.6 現在)	40.0	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	69	90	94
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
29.4 (R3.6 現在)	35.9 (R6.6 現在)	40.0											
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
69	90	94											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(8) 森とみどりの祭典開催事業 (5,330 千円) (4-3-1 2 に再掲)                      県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、緑の少年団や森林ボランティア、林業・木材産業の関係者が連携し、県民の「みどりづくり」から「木づかい運動」までの理解を深めるための普及啓発活動を行った。</p>	<p>森とみどりの祭典開催                      日時：令和5年10月8日                      場所：香川県満濃池森林公園                      参加緑の少年団数 3団</p>
<p>(9) どんぐり銀行活性化事業 (1,739 千円) (4-3-1 に再掲)                      どんぐり銀行を活性化するため、ポイント制度による協賛企業等の充実を図るとともに、どんぐり銀行臨時支店を開設した。</p>	<p>どんぐり銀行新規預金者数 840 人                      (累計 30,994 人)</p>
<p>(10) みどりの学校運営事業 (3,565 千円) (4-3-1 に再掲)                      みどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するため、森林ボランティア団体等と協働し、みどりづくりに関する体験、学習、実践ができる様々な講座を開催するとともに、みどりづくり活動を担う人材の育成を行った。</p>	<p>開催講座数 72 講座</p>
<p>(11) 生物多様性普及啓発事業 (1,922 千円) (4-4-4 に再掲)                      生物多様性保全の重要性の普及を図るため、県内の研究者等が所有する標本を活用した「まちかど生き物標本展」(3会場)を開催したほか、参加型のフィールド講座(3回)を実施した。</p>	<p>フィールド講座参加人数 57 人</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>脱炭素・地球温暖化対策事業（4-1-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 脱炭素社会の実現に向け、県民や事業者による省エネルギー行動の促進や再生可能エネルギーの導入を促進するなど、地球温暖化対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 脱炭素・地球温暖化対策推進事業（285千円） 市町や関係団体等で構成する香川県地域脱炭素推進協議会において、協議会を1回、協議会幹事会を4回開催し、脱炭素の取組みを促進するための勉強会や、令和5年2月に策定した「香川県地域脱炭素ロードマップ」の評価・検証方法を審議し、脱炭素に向けた効果的な取組みの推進を図った。</p> <p>(2) 省エネルギー行動等促進事業（27,182千円） ①省エネ県民運動促進事業（2,005千円） 家庭や事業所が省エネルギー行動に取り組む意識を醸成し、省エネルギー行動が日常行動・事業活動に自然に組み込まれることを目的として、関係機関と連携しながら、「かがわ省エネ節電所」の運営など、各種の普及啓発事業を実施した。</p> <p>②省エネ設備機器等普及促進事業（353千円） 「くらしの省エネ新エネ普及促進協議会」と連携して、省エネ新エネ設備機器の導入促進を図るための普及啓発イベントを行った。具体的には令和6年2月17日（土）にCO<sub>2</sub>削減フェスティバルを実施した。</p> <p>③かがわゼロカーボンシフト支援事業（11,951千円） 事業所における温室効果ガス排出抑制の計画的な取組みを促進するため、一定規模以上の特定事業者に対して、専門家とともに現地調査を実施した。 また、県内金融機関等とコンソーシアムを組織し、ESG融資に係る情報等を共有するとともに、エネルギー管理士等の専門家を事業者に派遣することで、CO<sub>2</sub>削減の取組支援を行った。 加えて、(公財)香川県環境保全公社に、ゼロカーボン企業相談窓口を設置したほか、脱炭素に向け優れた取組みを行った事業者の表彰を行った。</p> <p>④プラスチック等資源循環促進事業（1,915千円） (4-5-3に再掲) 「香川県循環型社会推進連絡会」を設置し、市町や事業者に対してプラスチック資源循環促進法に関する</p>	<p>3. 指標</p> <p>温室効果ガス削減率(対H25年度比)(%)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1401 479"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲15.8 (H29年)</td> <td>▲28.4 (R3年)</td> <td>▲33</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績値は暫定値</p> <p>「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度(%)</p> <table border="1" data-bbox="943 640 1401 804"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75.6 (R3.6現在)</td> <td>65.9 (R6.6現在)</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>かがわ省エネ節電所 R5年度 登録件数(累計) 5,814世帯(16,818人) 522事業所 省エネ講座(2回) 参加者数 145人 (オンライン含む)</p> <p>CO<sub>2</sub>削減フェスティバル参加者数 192人(会場参加のみ)</p> <p>特定事業者に対する現地調査 R5年度 9事業所 ESG脱炭素専門家派遣事業者 R4年度 8社 R5年度 10社 かがわ脱炭素促進事業者表彰事業 R4年度 大賞1社・優秀賞4社 R5年度 大賞1社・優秀賞3社</p> <p>香川県循環型社会推進連絡会 1回 プラスチック資源循環セミナー 1回 参加者数 70人(オンライン含む)</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	▲15.8 (H29年)	▲28.4 (R3年)	▲33	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	75.6 (R3.6現在)	65.9 (R6.6現在)	90
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
▲15.8 (H29年)	▲28.4 (R3年)	▲33											
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
75.6 (R3.6現在)	65.9 (R6.6現在)	90											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>セミナーを開催するなど、プラスチックの資源循環の推進に向けた情報提供や普及啓発を行った。</p> <p>⑤食品ロス・プラスチック削減推進事業 (1,518 千円)                      (4-5-3に再掲)                      県庁フードドライブ活動や出前講座の実施のほか、小売店・飲食店等を登録する「かがわ食品ロス削減協力店/かがわプラスチック・スマートショップ」、優れた取組みを表彰する「かがわ食品ロス削減大賞/かがわプラスチック・スマート大賞」等の制度運営を通じて、食品ロス削減やプラスチックごみ削減にかかる普及啓発を行った。</p> <p>⑥海洋プラスチックごみ対策等環境負荷低減製品開発支援事業 (9,440 千円) (6-1-4に再掲)                      県内企業の海洋プラスチックごみ問題解決に向けた事業化を支援するため、関連技術の研究開発や代替材、製品等の開発支援を行い、県内企業の技術向上等を支援した。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー等導入促進事業 (238,415 千円)                      ①かがわスマートハウス促進事業 (164,567 千円)                      住宅における脱炭素化を促進するため、住宅用太陽光発電設備やZEH等の導入に対して補助を行った。</p> <p>②初期費用ゼロ太陽光発電設備導入促進事業                      (2,231 千円)                      初期費用なしで太陽光発電設備等を設置する事業プランを募集・登録し、広報誌へのチラシ挟み込み等を行うことで、初期費用ゼロ太陽光発電設備の普及啓発を行った。</p> <p>③水素エネルギー利用促進普及啓発事業 (241 千円)                      水素エネルギーが活用される社会を目指し、燃料電池自動車等の普及を促進するため、実験キットを活用した水素発電実験等の講座を開催し、水素エネルギーの普及啓発を行った。</p> <p>④エネルギー関連産業育成支援事業 (3,794 千円)                      (6-1-4に再掲)                      エネルギー関連産業の育成に向けて、県内企業の販</p>	<p>効果・評価</p> <p>県庁フードドライブ 実施回数                      R5年度 2回                      出前講座 実施回数                      R5年度 22回                      食品ロス削減協力店 登録店舗数                      R5年度 8店舗 (累計 385 店舗)                      スマートショップ 認定店舗数                      R5年度 114 店舗 (累計 285 店舗)                      食品ロス削減大賞                      大賞1点、優秀賞4点、特別賞1点                      プラスチック・スマート大賞                      大賞1点、優秀賞5点、特別賞1点</p> <p>海洋プラスチックごみ対策関連勉強会                      2回</p> <p>住宅用太陽光発電システム設置件数                      (累計)                      R4年度 28,780 件                      R5年度 28,994 件                      蓄電池設置件数 (累計)                      R4年度 2,812 件                      R5年度 3,256 件                      ZEH補助件数                      R4年度 254 件                      R5年度 439 件                      V2H補助件数                      R4年度 18 件                      R5年度 24 件</p> <p>水素教室開催1回：60名参加</p> <p>国際二次電池展に県内企業4社出展</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>路開拓につながるようエネルギー関連技術・製品の見本市への出展を支援した。</p> <p>⑤A I 等先端技術活用型研究開発支援事業 (58,375 千円)                      (6-1-2 に再掲)                      A I をはじめとした先端技術の活用などの取組みについて、技術の高度化・商品開発の進歩を高めるため、産業技術総合研究所と連携・協力して実施する研究開発を支援した。</p> <p>⑥小水力発電導入検討事業 (6,207 千円)                      (9-4-2 に再掲)                      再生可能エネルギーの活用に向けて、内場ダムにおける小水力発電の導入の可能性について、検討を行った。</p> <p>⑦サステナブル畜産システム推進事業 (3,000 千円)                      (8-2-10、8-5-11 に再掲)                      県内の畜産物生産者が、畜産物の生産過程を自動化・リモート化し、人の作業量を削減することができる機器の整備に要する経費を支援した。</p> <p>(4) 吸収源対策事業 (387,296 千円)                      (4-3-12、4-3-14、8-7-30 に再掲)                      植栽・間伐等の森林整備や路網の整備、間伐材の搬出等を行う森林所有者等に対して補助を行うとともに、個人住宅やモデル的民間施設での県産木材の利用に要する経費を助成した。                      また、産卵場や幼稚魚の生育場となる藻場の減少を踏まえ、浅海域に藻場の整備等を行った。</p> <p>(5) CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガス対策事業 (34,604 千円)</p> <p>①フロン回収推進事業 (317 千円) (4-2-6 に再掲)                      フロン排出抑制法に基づき、フロン類を使用する機器の適切な管理や、機器の整備・廃棄等に当たってのフロン類の適切な充填・回収について、事業者への周知、指導を行った。</p> <p>②環境にやさしい農業推進事業 (23,628 千円)                      (8-2-10 に再掲)                      環境にやさしい農業の普及・拡大を図るため、産地に適した環境負荷低減技術と省力化技術を組み合わせた栽培体系の現地実証や、土壌測定診断結果に基づく施肥の改善指導、家畜ふん堆肥の有効利用を促進するリーフレットの作成等を行った。</p>	<p>県内企業 5 社 (新規 2 社、継続 3 社) に補助金を交付するとともに、技術相談等を実施</p> <p>発情監視システム (1 戸)、分娩監視システム (1 戸)、家畜監視システム (1 戸)、給飲水遠隔管理システム (1 戸) を整備した。</p> <p>第一種フロン類充填回収業者 (事業所) への立入件数 28 件</p>



4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>③環境保全型農業直接支援事業（7,619千円） （8-2-10に再掲） 化学農薬や化学肥料の使用を低減した上で、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動に取り組む農業者への支援を行った。</p> <p>④耕畜連携自給飼料確保推進事業（3,040千円） （8-2-4に再掲） 遊休農地の解消と畜産農家における自給飼料の確保を図るため、耕種農家が遊休農地を活用して生産した飼料作物を畜産農家が利用する取組みを支援した。</p> <p>（6）気候変動適応策連携推進事業（4,276千円） 本県の現状に応じた気候変動適応に関する施策を推進するため、香川県気候変動適応センターである環境保健研究センターにおいて、環境省や国立環境研究所等と連携し、農業分野及び暑熱分野を中心とした本県特有の気候変動影響及び適応策に関する情報収集・分析を行うとともに、令和5年8月24日に農業関係者向け気候変動適応セミナーを開催するなどした。</p> <p>（7）かがわエコオフィス推進事業（295,900千円）</p> <p>①省エネ設備更新E S C O導入モデル事業等 （220,124千円） 県有施設における省エネルギー化を推進するため、設備更新型E S C O事業を活用し、環境保健研究センターの省エネ改修を実施した。</p> <p>②太陽光発電設備導入可能性調査事業等（38,211千円） 笠田高校校舎等に太陽光発電設備を設置するとともに、防災施設等を含む県有施設14施設について、太陽光発電設備の導入可能性調査を行った。</p> <p>③県有施設L E D化推進事業（26,818千円） 天神前分庁舎、警察本部庁舎の照明設備についてL E D改修を行った。</p> <p>④さぬきこどもの国E S C O事業等（10,747千円）（再掲） さぬきこどもの国において、省エネルギー改修にかかる費用を光熱水費の削減分で賄うE S C O事業を実施するとともに、天神前分庁舎及び県立ミュージアムにおいて、リース方式による照明のL E D化の取組みを実施した。</p>	<p>1 ha の遊休農地を解消し、W C Sや飼料用トウモロコシの生産に取り組んだ。</p> <p>気候変動適応セミナー（農業関係者向け）参加者数 50人</p> <p>E S C Oによる改修内容及び効果 高効率空調設備の導入 照明L E D化 1,106台 B E M Sの導入 →省エネルギー削減保証率 15.3%</p> <p>太陽光発電設備導入量 20kW</p> <p>L E D改修実施灯 天神前分庁舎 427台 警察本部庁舎 345台</p> <p>さぬきこどもの国において、E S C O事業により、光熱水費の削減を図るとともに、天神前分庁舎及び県立ミュージアムにおいて、リース方式による照明のL E D化により、費用負担の平準化と維持管理経費の削減を図った。</p>

2. 課総括表

課名：環境管理課  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-2-1	ふるさと香川の水環境保全・創出事業	56	48		8	県・市町・地域住民等が協議会を組織し、協働して行う総合的な水環境の保全・創出に要する経費
4-2-2	環境保全施設整備資金融資事業	26,042	9,341		16,701	主要施策の成果の概要(4-2-2)に記載
4-2-3	給与費	463,564	461,471		2,093	環境管理課職員等の給与費等 給料238,375、職員手当等 135,231、共済費77,308
4-2-4	水質試験検査事業	3,085	2,790		295	水道や井戸の水質検査等に要する経費
4-2-5	大気汚染常時監視システム整備運用事業	11,410	11,409		1	大気汚染常時監視システムのリースに要する経費
4-2-6	青い空保全推進事業	54,893	51,065		3,828	主要施策の成果の概要(4-2-6)に記載
4-2-7	機器整備事業	(20,875) 24,221	(18,622) 21,631		(2,253) 2,590	試験研究機関の機器整備に要する経費
4-2-8	試験研究事業	484	467		17	大気汚染、水質汚濁の防止、公衆衛生のための調査研究に要する経費
4-2-9	公害対策推進事業	5,527	5,300		227	公害紛争処理、公害苦情処理、環境保全推進に要する経費
4-2-10	きらめく瀬戸内海創出事業	51,976	50,771		1,205	主要施策の成果の概要(4-2-10)に記載
4-2-11	化学物質対策推進事業	15,175	12,887		2,288	環境中の化学物質濃度調査、発生源の監視・指導を行う等、化学物質適正管理の促進に要する経費
4-2-12	生活環境保全対策推進事業	97	93		4	環境基本法等の適正運用及び騒音・振動・悪臭防止対策の推進に要する経費
4-2-13	石綿対策推進事業	490	408		82	石綿飛散防止対策の実施に要する経費
4-2-14	かがわ「里海」づくり推進事業	27,809	20,560		7,249	主要施策の成果の概要(4-2-14)に記載(一部再掲)
4-2-15	海岸漂着物地域対策推進事業	2,876	2,876			地域環境保全対策費補助金の返還に要する経費
4-2-16	環境保健研究センター運営管理費	53,630	50,052	2,477	1,101	環境保健研究センターの運営管理に要する経費
	課計	(20,875) 741,335	(18,622) 701,169	2,477	(2,253) 37,689	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：環境管理課  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
環境管理課	19	[1] 3	[1] 22	育児休業1名
環境保健研究センター	37	13	50	産前休暇1名、育児休業2名
合計	56	[1] 16	[1] 72	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[ ]内書きにより記載。

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>環境保全施設整備資金融資事業（4-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 環境保全のために公害防止施設の設置など、改善を行おうとする県内中小企業者に対し、特例措置として利子補給を行うことにより、良好な環境の保全に努めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 環境保全施設整備資金貸付金（8,900千円） 環境保全のために公害防止施設の設置など、改善を行おうとする県内中小企業者に対し、施設整備に要する資金について、取扱金融機関と協調して融資を行った。 (2) 環境保全施設整備資金融資利子補給（441千円） 排水処理施設を設置する小規模事業者等を支援するため、環境保全施設整備資金融資が無利子となるよう、利子補給を行った。</p>	<p>新規融資実績 H29年度 1件（1件） H30年度～R5年度 0件（0件） ※（ ）は、無利子融資</p> <p>R5年度末融資件数 2件 有利子分 0件 無利子分 2件</p>						
<p>青い空保全推進事業（4-2-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 大気汚染防止法に基づき、大気環境の常時監視を行うとともに、工場・事業場に対する規制・指導を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 大気汚染常時監視機器更新整備事業等（7,887千円） 大気汚染防止法で設置が定められている常時監視施設の機器の更新等整備を行った。 (2) 大気汚染常時監視機器運営管理事業（22,482千円） 大気汚染防止法に基づく常時監視を行い、その結果を迅速に把握・公表するとともに、光化学オキシダント注意報等の緊急時の発令、PM2.5高濃度予測時の注意喚起に備えた。 (3) 大気汚染調査指導事業等（1,644千円） 大気汚染防止法等に基づき、工場・事業場の固定発生源の届出を審査するとともに、計画的に工場等への立入検査を実施し、規制基準を遵守するよう監視・指導した。 (4) 環境保健研究センター機器等整備費（19,052千円） 環境保健研究センターの検査体制を維持するため、老朽化したガスクロマトグラフ質量分析計（GC-MS）等を更新した。</p>	<p>3. 指標 生活環境の向上（大気・水・騒音の満足度）（%）</p> <table border="1" data-bbox="941 1064 1404 1232"> <thead> <tr> <th>基準値 （R2）</th> <th>実績値 （R5）</th> <th>目標値 （R7）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.6 (R3.6現在)</td> <td>58.8 (R6.6現在)</td> <td>62.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>大気環境の常時監視を行い、大気汚染の状況を把握するとともに、工場・事業場に対する規制・指導を徹底することなどにより、大気汚染物質排出量の抑制を図り、大気環境の保全に努めた。</p> <p>環境基準適合率（令和5年度） 二酸化硫黄 100% 二酸化窒素 100% 一酸化炭素 100% 浮遊粒子状物質 100%</p>	基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）	52.6 (R3.6現在)	58.8 (R6.6現在)	62.0
基準値 （R2）	実績値 （R5）	目標値 （R7）					
52.6 (R3.6現在)	58.8 (R6.6現在)	62.0					

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>きらめく瀬戸内海創出事業（4-2-10）</p> <p>1. 趣旨・概要 水質汚濁防止法等に基づき、公共用水域（河川・海域）や地下水の水質汚濁の状況を監視するとともに、工場・事業場の排水等の規制・指導を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）公共用水域監視測定等事業（31,079千円） 水質測定計画に基づき、県内の河川、海域及び地下水の水質を常時監視し、環境基準の達成状況を把握するとともに、県内の公共用水域において発生した水質異常事故の原因究明と対応を速やかに実施した。また、瀬戸内海沿岸11府県が連携して、広域総合水質調査を実施した。</p> <p>（2）工場・事業場監視測定事業（1,379千円） 水質汚濁防止法等が適用される事業場等を対象に計画的に立入検査を実施し、排水基準を遵守するよう、監視・指導した。また、香川県生活環境の保全に関する条例が適用される小規模事業場等について、計画的に立入検査を実施し、水質排水基準を遵守するよう、監視・指導した。</p> <p>（3）豊かな海をめざす栄養塩類管理事業（16,627千円） 本県海域における生物の多様性及び水産資源の持続的な利用の確保の課題に対応するため、瀬戸内海環境保全措置法に基づき、「香川県栄養塩類管理計画」を策定、運用を開始した。また、計画対象水域におけるモニタリング調査も実施した。</p> <p>（4）事業場排水処理技術開発研究事業（1,686千円） 事業場からの排水のうち、汚濁濃度が非常に高いなど特徴的な排水を低コストで処理できる排水処理技術について調査研究を行った。</p>	<p>公共用水域（河川・海域）や地下水の水質汚濁の状況を監視するとともに、工場・事業場の排水等の規制・指導を徹底することなどにより、汚濁負荷量の低減を図り、瀬戸内海や河川の環境の改善に努めた。</p> <p>令和5年度に立入検査を実施した工場・事業場数は延べ344箇所である。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>かがわ「里海」づくり推進事業（4-2-14）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現を目指し、かがわ里海大学での各種講座の実施や里海ナビゲーション、海ごみ対策、里山整備の推進、生活排水対策の重点的な実施等、山・川・里（まち）・海を繋げる施策を総合的に進めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) かがわ「里海」づくり推進事業（6,747千円）</p> <p>かがわ里海大学において各種講座を実施して里海について理解を広げ、里海づくりをけん引する人材を育成するとともに、絵日記コンテスト等意識醸成のための里海ナビゲーションの実施、県民参加型モニタリング調査など、香川らしい里海の実現に向けた取組みを推進した。</p> <p>(2) 海ごみ対策推進事業（13,813千円）</p> <p>香川県海ごみ対策推進協議会において、香川県方式の海底堆積ごみ回収・処理システムを推進するとともに、発生抑制に係る普及啓発、県内一斉海ごみクリーン作戦、離島等の海岸を対象とした海ごみ回収・処理を実施するなど、参加型の海ごみ対策に取り組んだ。</p> <p>(3) 生活排水対策重点事業（205,455千円）（4-5-2に再掲）</p> <p>合併処理浄化槽の設置や単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換を推進するため、市町の整備費補助事業に補助を行うとともに、浄化槽の適正な維持管理を促進するため、法定検査の未受検者に対する指導等により、受検率の向上に取り組んだ。</p>	<p>3. 指標</p> <p>汚水処理人口普及率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="946 322 1401 488"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>78.8</td> <td>81.9</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>多様な主体の参画のもと、香川らしい里海の実現に向け、意識の醸成や人材育成に取り組むとともに、海ごみなど重要課題に対する施策も合わせて総合的に進めることにより、「人と自然が共生する持続可能な豊かな海」の実現に努めた。</p> <p>香川県方式海底堆積ごみ回収・処理システム 参加漁協数、回収量 R5年度 22漁協、約8.5トン 県内一斉海ごみクリーン作戦 参加者数、回収量 R5年度 約53千人、約151トン</p> <p>浄化槽設置整備事業費補助 R5年度実績 1,381基 既存単独処理浄化槽等の撤去費補助 R5年度実績 468基 転換に係る配管費補助 R5年度実績 517基</p> <p>法定検査受検率 R4年度実績 55.8%</p>	基準値 (R元)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	78.8	81.9	85.0
基準値 (R元)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
78.8	81.9	85.0					

## 2. 課総括表

課名：森林・林業政策課  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-3-1	県民総参加のみどりづくり事業	22,089	21,884		205	主要施策の成果の概要 (4-3-1)に記載
4-3-2	森林整備担い手育成確保対策事業	29,449	28,543		906	森林整備の担い手育成・確保に要する経費 森林整備担い手育成コース開講準備事業 主要施策の成果の概要(4-3-11)に記載 経営基盤強化事業 主要施策の成果の概要(4-3-12)に記載
4-3-3	林業普及指導事業	53,546	53,361		185	林業に関する技術と知識の普及、森林施策に関する巡回指導に要する経費 給料26,146、職員手当等17,267、共済費8,917
4-3-4	森林病虫害等防除事業	(6,427) 58,021	(6,423) 43,577	11,596	(4) 2,848	マツ枯れ、ナラ枯れの防除等に要する経費
4-3-5	森林センター整備管理事業	31,279	30,522		757	苗畑、展示施設等の整備・管理に要する経費 給料13,952、職員手当等7,131、共済費4,442
4-3-6	森林センター園内施設維持管理事業	8,787	6,841	1,900	46	森林センターの維持管理に要する経費
4-3-7	林業試験研究事業	1,077	1,049		28	花粉症対策に資する育林・育苗調査、松くい虫に抵抗性のあるマツの増殖技術の開発など各種試験研究に要する経費
4-3-8	森林公園管理運営事業	(42,226) 166,872	(38,623) 162,931		(3,603) 3,941	公測森林公園、満濃池森林公園の管理運営業務の委託及び施設整備等に要する経費
4-3-9	林業金融対策事業	608	307		301	各種金融制度の普及、地方公営企業等金融機構の受託調査等に要する経費
4-3-10	林業事務所庁舎管理事業	(20,807) 27,955	(18,137) 25,119		(2,670) 2,836	東部及び西部林業事務所庁舎の管理等に要する経費
4-3-11	新たな森林管理システム推進事業	(990) 2,663	(990) 2,584		79	主要施策の成果の概要 (4-3-11)に記載
4-3-12	県産木材の供給と利用促進事業	20,519	17,097		3,422	主要施策の成果の概要 (4-3-12)に記載
4-3-13	森林計画樹立等事業	10,994	10,784		210	地域森林計画の編成等に要する経費 森林GIS管理事業 主要施策の成果の概要(4-3-11)に記載
4-3-14	造林事業(国補)	(81,566) 224,766	(81,224) 162,435	61,896	(342) 435	主要施策の成果の概要 (4-3-14)に記載
4-3-15	離島振興造林事業	2,280	2,163		117	主要施策の成果の概要 (4-3-14)に記載
4-3-16	森林・竹林整備緊急対策事業	(27,000) 85,056	(25,162) 55,715	25,826	(1,838) 3,515	主要施策の成果の概要 (4-3-14)に記載
4-3-17	県営林管理事業	(32,262) 66,241	(32,182) 33,292	32,869	(80) 80	主要施策の成果の概要 (4-3-14)に記載
4-3-18	森林管理道事業	(58,041) 179,342	(57,757) 118,617	60,336	(284) 389	主要施策の成果の概要 (4-3-18)に記載
4-3-19	林道補助事業	(15,280) 122,014	(15,280) 92,357	29,657		主要施策の成果の概要 (4-3-18)に記載

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-3-20	離島振興林道事業	4,785	4,785			主要施策の成果の概要 (4-3-18)に記載
4-3-21	林道施設整備事業	(23,500) 58,100	(22,721) 32,747	24,100	(779) 1,253	主要施策の成果の概要 (4-3-18)に記載
4-3-22	単独県費補助林道事業	19,830	19,721		109	主要施策の成果の概要 (4-3-18)に記載
4-3-23	電子県庁推進 (電子納品)事業	211	179		32	電子納品・情報共有システムの運用に係る保守、管理に要する経費
4-3-24	治山事業	(342,090) 846,961	(337,406) 641,765	198,730	(4,684) 6,466	主要施策の成果の概要 (4-3-24)に記載
4-3-25	離島振興治山事業	(7,094) 61,710	(7,083) 37,875	23,823	(11) 12	主要施策の成果の概要 (4-3-24)に記載
4-3-26	森林荒廃地緊急整備事業	(27,501) 92,331	(27,260) 71,713	20,122	(241) 496	主要施策の成果の概要 (4-3-24)に記載
4-3-27	単独県費補助治山事業	(5,065) 8,695	(4,177) 7,325		(888) 1,370	主要施策の成果の概要 (4-3-24)に記載
4-3-28	治山施設機能強化事業	(1,729) 7,049	(1,327) 5,687	897	(402) 465	主要施策の成果の概要 (4-3-24)に記載
4-3-29	団体営林業施設災害復旧事業	5,129	2,059	3,070		林業施設の災害復旧に要する経費
4-3-30	給与費	301,614	300,965		649	森林・林業政策課職員等の給与費 給料158,516、職員手当等 90,622、共済費51,827
	課計	(691,578) 2,519,973	(675,752) 1,993,999	494,822	(15,826) 31,152	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

### 3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：森林・林業政策課  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
森林・林業政策課	(1)25	[1] 2	[1](1)27	休職1名
森林センター	(1) 4	3	(1) 7	
東部林業事務所	9	1	10	
西部林業事務所	[1] 12	1	[1] 13	育児休業1名
小豆総合事務所 環境森林課	2		2	
合計	[1](2)52	[1] 7	[2](2)59	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [ ] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を ( ) 外書きにより記載。

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>県民総参加のみどりづくり事業（4-3-1）</p> <p>1. 趣旨・概要          県民の参加と協働による森づくりへの機運を高めるため、様々なみどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するとともに、みどりづくり活動等に必要な支援を行い、県民総参加のみどりづくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容          (1) 県民総参加のみどりづくり事業（11,714千円）          ①みどりとのふれあい推進事業（316千円）          森づくり活動への積極的な参加を呼びかけるため、森林ボランティア活動等の情報提供やどんぐり銀行活動を実施するとともに、手入れが必要な森林の情報を、森づくりに関心のある企業等に提供し、市町、森林組合等と連携して森林整備を行うフォレストマッチング推進事業により企業等との協働の森づくりを行った。</p> <p>②緑化推進事業（3,589千円）          みどりづくりに関する普及啓発を図るため、緑の少年団活動の推進や緑化コンクールを実施した。</p> <p>③緑の少年団育成強化事業（2,505千円）          新たな緑の少年団の設立や活動の活性化を図るために必要な経費を助成した。</p> <p>④どんぐり銀行活性化事業（1,739千円）          どんぐり銀行を活性化するため、ポイント制度による協賛企業等の充実を図るとともに、どんぐり銀行臨時支店を開設した。</p> <p>⑤みどりの学校運営事業（3,565千円）          みどりづくり活動への参加の機会を広く県民に提供するため、森林ボランティア団体等と協働し、みどりづくりに関する体験、学習、実践ができる様々な講座を開催するとともに、みどりづくり活動を担う人材の育成を行った。</p> <p>(2) ドングリランド施設維持管理事業（10,170千円）          森林ボランティア活動の拠点であるドングリランドを、森づくり行事や森林環境教育の場として活用するため、指定管理者による適正な維持管理を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>公園・緑地面積 (ha)</p> <table border="1" data-bbox="954 315 1417 479"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,838 (R元)</td> <td>1,845 (R4)</td> <td>1,856 (R6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>みどりの豊かさ（森林・公園など）の満足度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 600 1417 763"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62 (R3.6 現在)</td> <td>66 (R6.6 現在)</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>森林ボランティア活動の関心度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 846 1417 1010"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61 (R3.6 現在)</td> <td>58 (R6.6 現在)</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>県民参加の森づくり参加者数 9,113人</p> <p>ドングリランド利用者数 8,405人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	1,838 (R元)	1,845 (R4)	1,856 (R6)	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	62 (R3.6 現在)	66 (R6.6 現在)	65	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	61 (R3.6 現在)	58 (R6.6 現在)	65
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
1,838 (R元)	1,845 (R4)	1,856 (R6)																	
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
62 (R3.6 現在)	66 (R6.6 現在)	65																	
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																	
61 (R3.6 現在)	58 (R6.6 現在)	65																	



## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>新たな森林管理システム推進事業（４－３－１１）</p> <p>1. 趣旨・概要 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づく「新たな森林管理システム」を円滑に運用するため、市町の森林・林業行政を推進する人材や「意欲と能力のある林業経営体」を育成するとともに、登録・公表を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 森林整備等推進活動支援事業（1,406千円） 森林整備を推進するため、林業経営体の経営改善に関する研修の開催や、県と市町等で構成する「かがわ森林整備担い手対策協議会」において県内全域を対象とした担い手育成・確保に必要な施策や森林環境譲与税の活用策を協議するなど市町に対する支援を行った。</p> <p>(2) 林業現場技能者育成事業（1,178千円） 「新たな森林管理システム」に基づく意欲と能力のある林業経営体の育成を図るため、ICT等を活用した森林資源解析や高度な伐採技術を習得するための研修等を開催し、現場作業員の技術・技能の向上を図った。</p> <p>(3) 森林GIS管理事業（9,869千円） （４－３－１３から再掲） 森林法に基づき、民有林の森林資源や植栽面積等を更新する編成調査を実施するとともに、森林GISシステムの背景図となる衛星写真を調達した。</p> <p>(4) 森林整備担い手育成コース開講準備事業（3,729千円） （４－３－２から再掲） 農業大学校において、森林整備の担い手育成が可能な「林業・造園緑化コース」の開講に向けて、授業計画の作成や必要な機材等を整備した。</p>	<p>3. 指標 森林整備と木材利用に関する認知度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="954 353 1417 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47 (R3.6現在)</td> <td>44 (R6.6現在)</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>経営改善に向けた講演会開催 1回 担い手対策協議会開催 5回</p> <p>林業現場技能者育成研修受講者 102人</p> <p>森林GISデータ更新 (編成対象：高松調査区 1市3町)</p> <p>令和6年4月に「林業・造園緑化コース」開講</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	47 (R3.6現在)	44 (R6.6現在)	60
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)					
47 (R3.6現在)	44 (R6.6現在)	60					

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																				
<p>県産木材の供給と利用促進事業（4-3-12）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>「みどりの基本計画」や「香川県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例」に基づき、関係機関と連携し、県産木材の安定供給と利用拡大に取り組むなど、森林整備と森林資源の循環利用を推進し、林業・木材産業の成長発展を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県産木材供給促進事業（11,135千円）</p> <p>① 県産木材供給対策事業（1,100千円）</p> <p>花粉発生源対策として、植替えに必要な花粉の少ないヒノキ・スギの種子を供給するため、森林センター内の採種園の維持管理を実施した。</p> <p>② 県産認証木材流通促進事業（1,843千円）</p> <p>森林環境譲与税を活用し、県産認証木材の流通を促進するため、県産認証木材製品の加工経費を支援するとともに、県産認証木材製品の品質について検証するなど、PRを行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1039 911 1167"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産認証木材製品加工経費支援</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>県産認証木材製品品質検証</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 経営基盤強化事業（8,192千円）（4-3-2から再掲）</p> <p>森林組合等が行う高性能林業機械の導入及び森林施業の集約化・団地化の促進等、経営基盤の強化に要する経費に対し補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1368 911 1451"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営基盤強化経費支援</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県産木材利用促進事業（14,154千円）</p> <p>① 香川県産木材住宅助成事業（5,892千円）</p> <p>県産木材の住宅資材としての認知度向上と利用促進を図るため、県産ヒノキを利用した住宅の施主に対して、その利用量に応じて、購入経費の一部を補助した。</p> <table border="1" data-bbox="252 1733 911 1816"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産木材を利用した住宅への助成</td> <td>33件</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 木とふれあう空間整備支援事業（1,051千円）</p> <p>県産木材の民間施設での利用促進を図るため、県産木材をPR効果の高い公的スペースで利用した施主に対して、購入経費の一部を補助した。</p>	区分	件数	県産認証木材製品加工経費支援	1件	県産認証木材製品品質検証	1件	区分	件数	経営基盤強化経費支援	6件	区分	件数	県産木材を利用した住宅への助成	33件	<p>3. 指標</p> <p>県産認証木材の搬出量 (m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" data-bbox="954 315 1417 510"> <thead> <tr> <th>基準値 (H28～R2 平均)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,230</td> <td>13,219</td> <td>13,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>県産木材の供給促進に向けて、県産認証木材の流通促進に向けたPR等のほか、高性能林業機械の導入など、森林組合等の経営基盤強化に要する経費支援等を行った。</p> <p>県産木材の利用促進に向けて、県産木材を利用した住宅やPR効果の高い公的施設に対し、購入経費の一部を補助するほか、県民の理解を深めるため、「森とみどりの祭典」を開催するなど、普及啓発活動を行った。</p>	基準値 (H28～R2 平均)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	10,230	13,219	13,700
区分	件数																				
県産認証木材製品加工経費支援	1件																				
県産認証木材製品品質検証	1件																				
区分	件数																				
経営基盤強化経費支援	6件																				
区分	件数																				
県産木材を利用した住宅への助成	33件																				
基準値 (H28～R2 平均)	実績値 (R5)	目標値 (R7)																			
10,230	13,219	13,700																			

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況		効果・評価
区分	件数	
県産木材PR効果の高い施設への助成	1件	
<p>③森とみどりの祭典開催事業（5,330千円）</p> <p>県民総参加のみどりづくりをより一層推進するため、緑の少年団や森林ボランティア、林業・木材産業の関係者が連携し、県民の「みどりづくり」から「木づかい運動」までの理解を深めるための普及啓発活動を行った。</p>		
イベント名	開催日	開催場所
森とみどりの祭典	令和5年10月8日	満濃池森林公園
<p>④「かがわの森 アンテナショップ」運営事業 (1,881千円)</p> <p>「かがわの森 アンテナショップ」等で、親子木工教室等のイベントを随時開催するとともに、県産木材製品の展示、販売などのPRを行った。</p>		

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																
<p>森林の整備（造林）（4-3-14）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>森林所有者等が行う植栽、下刈、間伐等の森林整備や間伐材等の搬出などに対して支援するとともに、県営林において、適正な保育管理を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 造林事業（国補）（162,435千円）</p> <p>森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、森林所有者等が行う植栽、間伐等の森林整備に対し、補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 676 769 887"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽</td> <td>24.23</td> </tr> <tr> <td>下刈</td> <td>184.05</td> </tr> <tr> <td>除間伐</td> <td>137.06</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>345.34</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 離島振興造林事業（2,163千円）</p> <p>離島地域において、森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、森林所有者等が行う間伐の森林整備に対し、補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1088 769 1173"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除間伐</td> <td>5.64</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 森林・竹林整備緊急対策事業（55,715千円）</p> <p>国庫補助事業の対象とならない小規模な未整備森林や放置された竹林等の整備に取り組む森林所有者等に対し補助を行うとともに、間伐材等の搬出経費に対し助成を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1413 769 1624"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>下刈</td> <td>6.71</td> </tr> <tr> <td>除間伐</td> <td>20.83</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27.95</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 県営林管理事業（33,292千円）</p> <p>県営林において、森林の持つ公益的機能の維持、向上を図るため、植栽、間伐等の森林整備を行った。</p> <table border="1" data-bbox="252 1785 769 1957"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>面積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>除間伐</td> <td>53.01</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>53.51</td> </tr> </tbody> </table>	区分	面積(ha)	植栽	24.23	下刈	184.05	除間伐	137.06	計	345.34	区分	面積(ha)	除間伐	5.64	区分	面積(ha)	植栽	0.41	下刈	6.71	除間伐	20.83	計	27.95	区分	面積(ha)	植栽	0.50	除間伐	53.01	計	53.51	<p>森林の有する多面的な機能の維持、向上や里山の再生を図るため、森林所有者等が行う植栽、間伐等に対し、補助を行うなど、計画的な森林整備を行った。</p> <p>R5年度整備実績</p> <p>植栽 25ha 下刈 191ha 除間伐 217ha</p>
区分	面積(ha)																																
植栽	24.23																																
下刈	184.05																																
除間伐	137.06																																
計	345.34																																
区分	面積(ha)																																
除間伐	5.64																																
区分	面積(ha)																																
植栽	0.41																																
下刈	6.71																																
除間伐	20.83																																
計	27.95																																
区分	面積(ha)																																
植栽	0.50																																
除間伐	53.01																																
計	53.51																																

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																
<p>森林の整備（林道）（4-3-18）</p> <p>1. 趣旨・概要 多様な公益的機能を有する森林の整備や林業の生産性の向上を図るとともに、山間地域の利便性を高め地域の活性化を促進するため、林道の開設、改良、舗装等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 森林管理道事業（118,617千円） 森林整備を推進するため、森林管理道琴南財田線のうち、2路線（4-2号線、2-1号線）の整備を行った。</p> <p>(2) 林道補助事業（92,357千円） 市町が実施する既設林道の機能強化を図るための改良及び点検診断事業に対して補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 795 927 1005"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>76,051</td> <td>5</td> <td>東かがわ市 外2市2町</td> </tr> <tr> <td>点検診断</td> <td>16,306</td> <td>49</td> <td>高松市 外4市2町</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 離島振興林道事業（4,785千円） 島しょ部における町が実施する既設林道の機能強化を図るための改良事業に対して補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 1167 927 1288"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>4,785</td> <td>1</td> <td>小豆島町</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 林道施設整備事業（32,747千円） 森林管理道事業の実施に伴い、国庫補助の対象とならない附帯施設等の整備を行った。</p> <p>(5) 単独県費補助林道事業（19,721千円） 市町が実施する国庫補助の対象とならない小規模な改良及び舗装事業に対し、県単独で補助を行った。</p> <table border="1" data-bbox="236 1610 927 1830"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県事業費（千円）</th> <th>路線数</th> <th>市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改良</td> <td>14,006</td> <td>6</td> <td>東かがわ市 外1市2町</td> </tr> <tr> <td>舗装</td> <td>5,715</td> <td>1</td> <td>まんのう町</td> </tr> </tbody> </table>	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	76,051	5	東かがわ市 外2市2町	点検診断	16,306	49	高松市 外4市2町	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	4,785	1	小豆島町	区分	県事業費（千円）	路線数	市町	改良	14,006	6	東かがわ市 外1市2町	舗装	5,715	1	まんのう町	<p>森林管理道琴南財田線 進捗率 91.1%</p> <p>市町が実施する林道の改良等に対して補助するなど、林道の整備を行った。</p>
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																														
改良	76,051	5	東かがわ市 外2市2町																														
点検診断	16,306	49	高松市 外4市2町																														
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																														
改良	4,785	1	小豆島町																														
区分	県事業費（千円）	路線数	市町																														
改良	14,006	6	東かがわ市 外1市2町																														
舗装	5,715	1	まんのう町																														

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況		効果・評価	
森林の整備（治山）（4-3-24） 1. 趣旨・概要 山地災害から県民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養や生活環境の保全・形成を図り、安全で安心できる暮らしを実現するため、治山施設や森林の整備を推進した。 2. 具体的内容 (1) 治山事業（641,765千円） 山地災害の未然防止・軽減を図るため、荒廃地の復旧整備や保安林の整備を行った。		予防治山事業など各種治山事業により、山地災害の未然防止に努め、山地災害危険地区において新たに治山施設を14箇所整備した。	
事業細目	事業費（千円）		箇所数
予防治山事業 外	312,087		治山施設8箇所 東かがわ市外2市3町
復旧治山事業	150,670		治山施設2箇所 まんのう町外1町
流域保全総合治山事業	115,556		治山施設2箇所 東かがわ市外1市
緊急機能強化 ・老朽化対策事業	13,950		治山施設1箇所 善通寺市
保育事業	49,502		整備地区8地区 東かがわ市外4市3町
(2) 離島振興治山事業（37,875千円） 島しょ部における山地災害の未然防止・軽減を図るための治山施設の整備を行った。			
事業細目	事業費（千円）		箇所数
山地災害重点地域 総合対策事業	37,875		治山施設1箇所 土庄町
(3) 森林荒廃地緊急整備事業（71,713千円） 国庫補助事業の対象とならない小規模な荒廃地14箇所の復旧整備を行った。			
(4) 単独県費補助治山事業（7,325千円） 市町が実施する国庫補助事業の対象とならない小規模な荒廃地及び荒廃危険地2箇所の復旧整備に対し、補助を行った。			
(5) 治山施設機能強化事業（5,687千円） 既存治山施設の防災機能強化を図るため、林野庁の定めるガイドラインに基づき、施設の点検、診断を行った。			

2. 課総括表

課名：みどり保全課  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-4-1	みどりの県土保全事業	600	580		20	事前協議制度の施行及び適正な開発に向けた指導監視に要する経費
4-4-2	給与費	172,610	172,311		299	みどり保全課職員の給与費 給料88,758、職員手当等52,791、 共済費30,762
4-4-3	自然環境保全推進事業	85	55		30	自然環境保全地域等の指定及び管理に要する経費
4-4-4	生物多様性保全事業	9,948	9,438		510	主要施策の成果の概要 (4-4-4) に記載
4-4-5	みどりの県有施設管理事業	(40,214) 88,344	(37,520) 70,230	15,013	(2,694) 3,101	主要施策の成果の概要 (4-4-5) に記載
4-4-6	瀬戸内海国立公園等魅力向上事業	(14,600) 41,040	(14,598) 27,838	13,200	(2) 2	主要施策の成果の概要 (4-4-5) に記載
4-4-7	瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業	6,500	5,591		909	主要施策の成果の概要 (4-4-5) に記載
4-4-8	傷病鳥獣保護事業	6,800	6,788		12	傷病鳥獣の保護に要する経費
4-4-9	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する事業	10,778	9,482		1,296	鳥獣保護管理事業に要する経費 9,088 鳥インフルエンザ野鳥調査等 394
4-4-10	有害鳥獣総合対策事業	8,040	7,093		947	主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-11	特定鳥獣等個体群管理推進事業	23,879	22,786		1,093	主要施策の成果の概要 (4-4-10) に記載
4-4-12	保安林整備管理事業	5,988	5,932		56	保安林の指定・解除及び適正な管理に要する経費
4-4-13	林地開発指導監視事業	7,986	7,878		108	森林法の執行、普及啓発活動及び監視・巡視等に要する経費
	課計	(54,814) 382,598	(52,118) 346,002	28,213	(2,696) 8,383	

行上段の( )内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：みどり保全課  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
みどり保全課	[1]25	3	[1]28	
合計	[1]25	3	[1]28	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を[ ]内書きにより記載。

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>生物多様性保全事業（4－4－4）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>生物多様性の保全を図るため、希少野生生物や侵略的外来種の状況把握等を行うとともに、保全の重要性の普及啓発や、市町、民間団体などと連携した指定希少野生生物の保護対策の検討、特定外来生物の防除対策を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 生物多様性調査研究事業（6,348千円）</p> <p>指定希少野生生物のモニタリング調査により、最新の生息・生育状況を明らかにし、希少野生生物の保護対策の検討を行ったほか、「侵略的外来種リスト」に記載された特定外来生物について、県民が適切に防除に取り組めるよう、2種（ヌートリア・ナガエツルノゲイトウ）の防除指針を作成した。</p> <p>(2) 特定外来生物防除事業（1,168千円）</p> <p>アライグマ・ヌートリア等の生息範囲の拡大や被害の甚大化を防ぐため、防除実施主体である11市町に対し、捕獲資機材の購入や捕獲個体の処分等に係る経費について支援を行ったほか、防除従事者養成講習会（2回開催し、49人が受講）を実施した。</p> <p>(3) 生物多様性普及啓発事業（1,922千円）</p> <p>生物多様性保全の重要性の普及を図るため、県内の研究者等が収集・保管している貴重な標本を活用した「まちかど生き物標本展」を県立文書館など3会場で開催したほか、参加型のフィールド講座を大滝大川県立自然公園センターなどで3回実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>生物多様性に関する県民の認知度 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 353 1414 521"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.2 (R3.6 現在)</td> <td>37.8 (R6.6 現在)</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数</p> <table border="1" data-bbox="943 640 1414 768"> <thead> <tr> <th>基準値 (R2)</th> <th>実績値 (R5)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>モニタリング調査対象種数 11種</p> <p>アライグマ捕獲頭数 162頭 ヌートリア捕獲頭数 208頭</p> <p>累計防除従事者数 1,638人</p> <p>フィールド講座参加人数 57人</p>	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	37.2 (R3.6 現在)	37.8 (R6.6 現在)	50	基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)	—	11	15
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
37.2 (R3.6 現在)	37.8 (R6.6 現在)	50											
基準値 (R2)	実績値 (R5)	目標値 (R7)											
—	11	15											



## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>自然公園等保護・利用促進事業（4-4-5）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>瀬戸内海国立公園、大滝大川県立自然公園及び四国のみちの県有施設において、適正な維持管理と利用促進を行った。</p> <p>また、瀬戸内海国立公園の魅力を向上させるため、公園利用施設の老朽化対策等のための整備を行い、その魅力を紹介するソフト事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) みどりの県有施設管理事業（70,230千円）</p> <p>瀬戸内海国立公園や大滝大川県立自然公園及び四国のみちについて、県が整備した利用施設等の修繕や清掃、除草等の維持管理を行った。また、大滝大川県立自然公園内の2つの野営場においては、指定管理者制度により、施設の管理運営を実施した。</p> <p>(2) 瀬戸内海国立公園等魅力向上事業（27,838千円）</p> <p>訪日外国人をはじめとする観光客の利用環境を整備するため、瀬戸内海国立公園内の園路の改修などの老朽化対策や案内標識等の多言語表記化などを行った。</p> <p>(3) 瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業（5,591千円）</p> <p>昭和9年3月16日に備讃瀬戸地域が我が国で最初に国立公園に指定され90周年を迎えたことを記念し、令和6年3月16日に、屋島山上においてキックオフセレモニーを行うとともに、屋島及び鷺羽山においてウォークイベントを開催した。</p>	<p>自然公園の施設や四国のみちの安全・快適な利用の促進に努めた。</p> <p>また、瀬戸内海国立公園の施設の整備を行い、訪れる観光客の受入環境を向上させた。</p> <p>さらに、ウォーク行事を開催し、公園の魅力を発信するとともに、参加者が香川の自然について理解を深めることに努めた。</p> <p><b>【整備実施箇所】</b></p> <p>屋島園地：園路舗装改修  紫雲出山園地：野外卓、ベンチ改修  釈迦ヶ鼻園地：案内板多言語化改修  園路・駐車場改修  城山園地：案内板等多言語化改修  駐車場改修</p> <p>屋島ウォーク参加者数  206名（うち岡山からの参加者43名）  鷺羽山ウォーク参加者数  185名（うち香川からの参加者47名）</p>

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>野生鳥獣総合対策事業（4-4-10）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>野生鳥獣による被害に対処するため、市街地に出没するイノシシについて、市町による有害鳥獣捕獲では十分な捕獲が行われていない地域において、県が主体となって捕獲を実施したほか、将来にわたって捕獲の担い手を確保するため、人材育成事業等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 有害鳥獣総合対策事業（7,093千円）</p> <p>イノシシ等を市街地に出没させないよう「市街地イノシシ等侵入防止対策支援事業」を実施し、5市町に対し、集中的な捕獲や侵入防止柵の設置、捕獲資機材の購入について支援した。</p> <p>(2) 特定鳥獣等個体群管理推進事業（22,786千円）</p> <p>「第二種特定鳥獣管理計画」に基づき、環境大臣が定める指定管理鳥獣であるイノシシについては、市街地周辺や島しょ部等において、県主体の捕獲事業を実施するとともに、ニホンザルについては、特に加害性の高い群れを対象に、GPS発信機を活用した生息状況調査を実施した。</p> <p>また、狩猟初心者を対象にイノシシ捕獲技術講習会（4回実施し、70人が受講）を開催し、捕獲に必要な知識及び技術の習得による捕獲技術の向上を図ったほか、狩猟に興味のある若者を対象に狩猟フィールド体験入門講座（2回実施し、13人が受講）を開催した。</p>	<p>狩猟免許所持者数（各年度末現在）</p> <p>R 3年度 2,112人</p> <p>R 4年度 2,142人</p> <p>R 5年度 2,132人</p> <p>イノシシ捕獲頭数</p> <p>R 3年度 14,349頭</p> <p>R 4年度 15,680頭</p> <p>R 5年度 9,095頭</p>

2. 課総括表

課名：循環型社会推進課  
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
4-5-1	産業廃棄物処理 対策事業	21,280	20,390		890	主要施策の成果の概要 (4-5-1)に記載
4-5-2	浄化槽対策費	217,930	205,455		12,475	主要施策の成果の概要 (4-2-14)に記載
4-5-3	循環型社会づく り推進等事業	5,825	5,583		242	主要施策の成果の概要 (4-5-3)に記載
4-5-4	エコアイランド なおしまプラン 推進事業	6,000	5,007		993	主要施策の成果の概要 (4-5-4)に記載
4-5-5	豊島処分地維持 管理等事業	11,866	8,944		2,922	主要施策の成果の概要 (4-5-5)に記載
4-5-6	ダイオキシン類 対策事業	891	812		79	廃棄物焼却施設のばいじんや焼却 灰等のダイオキシン類濃度の検査 等に要する経費
4-5-7	給与費	161,578	161,230		348	循環型社会推進課職員の給与費等 給料81,249、職員手当等51,180、共済費 28,801
	課計	425,370	407,421		17,949	

3. 職員数の状況 (R6.3.31現在)

課名：循環型社会推進課  
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
循環型社会推進課	21	1	22	休職1名
合計	21	1	22	

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>産業廃棄物処理対策事業（4-5-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 複雑多様化する産業廃棄物問題に的確かつ機動的に対応し、産業廃棄物の適正処理及び減量化・リサイクルの促進を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 産業廃棄物不法投棄等防止対策事業（13,749千円） 産業廃棄物の不適正処理の未然防止や早期発見、適正処理に関する指導等を実施した。</p> <p>①産業廃棄物処理指導監視事業 ②産業廃棄物処理に係る紛争対策等事業 ③不法投棄防止対策推進事業 ・夜間・休日パトロール事業 ・「廃棄物110番」事業 ・環境監視員事業 ④自動車リサイクル法に基づく指導事業 ⑤放置自動車処理条例に基づく指導事業 ⑥建設リサイクル法に基づく指導事業 ⑦県外産業廃棄物適正処理指導事業</p> <p>(2) 産業廃棄物適正処理推進事業（6,522千円） 産業廃棄物の適正処理を促進するため、処理業者及び排出事業者への啓発や指導育成を行った。</p> <p>(3) PCB廃棄物適正処理推進事業（119千円） PCB廃棄物の確実かつ適正な処理を確保するため、PCB廃棄物特別措置法に基づき、適正保管・処分等の指導監視に努めた。</p>	<p>産業廃棄物指導監視機動班による指導監視 R5年度実績 延べ464日、1,902件</p> <p>夜間・休日パトロール日数 R5年度実績 96日 廃棄物110番受付件数 R5年度実績 42件</p> <p>香川県産業廃棄物セミナー 1回 オンライン申込者 202人 会場申込者 16人</p> <p>PCB廃棄物の適正保管・処分の立入検査・指導を行った。 立入箇所数・立入回数 9か所・11回</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>循環型社会づくり推進等事業（4-5-3）</p> <p>1. 趣旨・概要                      循環型社会の形成に向けて、3R（廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））の推進を図った。</p> <p>2. 具体的内容                      (1) 廃棄物発生抑制推進対策事業（3,892千円）                      ①廃棄物発生抑制推進対策事業（254千円）                      3Rの普及啓発等を実施するとともに、市町における一般廃棄物の適正処理や3Rの施策を推進するため、香川県循環型社会推進連絡会を開催し、情報共有及び意見交換を行った。</p> <p>②プラスチック等資源循環促進事業（1,915千円）（再掲）                      「香川県循環型社会推進連絡会」を設置し、市町や事業者に対してプラスチック資源循環促進法に関するセミナーを開催するなど、プラスチックの資源循環の推進に向けた情報提供や普及啓発を行った。</p> <p>③食品ロス・プラスチック削減推進事業（1,518千円）（再掲）                      県庁フードドライブ活動や出前講座の実施のほか、小売店・飲食店等を登録する「かがわ食品ロス削減協力店/かがわプラスチック・スマートショップ」、優れた取り組みを表彰する「かがわ食品ロス削減大賞/かがわプラスチック・スマート大賞」等の制度運営を通じて、食品ロス削減やプラスチックごみ削減にかかる普及啓発を行った。</p> <p>④環境配慮モデル広域連携事業（205千円）                      環境配慮の観点から、他の模範となるリサイクル製品や県内事業所を環境配慮モデルとして認定し、パネル展の開催等を通じて普及啓発を行った。</p> <p>(2) 産業廃棄物減量化・リサイクル促進事業（1,650千円）                      産業廃棄物の排出、処理等の実態について調査を行うとともに、減量化・リサイクルを促進するため、排出事業者等への指導、助言を行った。</p> <p>(3) 災害廃棄物処理広域訓練事業（41千円）                      大規模災害発生時における災害廃棄物処理の連携体制の充実・強化を図るため、図上訓練及び実地訓練を市町や関係団体と共に実施した。</p>	<p>3. 指標                      一般廃棄物の最終処分量(万t/年)</p> <table border="1" data-bbox="944 315 1414 472"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.1</td> <td>2.6</td> <td>2.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>香川県循環型社会推進連絡会 1回</p> <p>認定リサイクル製品                      R5年度 0件（累計29製品）                      認定モデル事業所                      R5年度 10件（累計29事業所）</p> <p>産業廃棄物の最終処分量(万t/年)</p> <table border="1" data-bbox="944 1682 1414 1839"> <thead> <tr> <th>基準値 (R元)</th> <th>実績値 (R4)</th> <th>目標値 (R7)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17.2</td> <td>13.8</td> <td>16.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>災害廃棄物処理広域訓練                      図上訓練：令和5年11月29日（水）                      実地訓練：令和6年1月18日（木）</p>	基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	3.1	2.6	2.6	基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)	17.2	13.8	16.1
基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
3.1	2.6	2.6											
基準値 (R元)	実績値 (R4)	目標値 (R7)											
17.2	13.8	16.1											

## 4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>エコアイランドなおしまプラン推進事業（4-5-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 豊島廃棄物等中間処理施設の整備を契機として、直島町において、新しく資源化・リサイクルについての先進的な環境産業の展開が図られ、町の活性化につながるよう、町と共にエコタウンプランの実現に向けて取り組み、循環型社会のモデル地域の形成を目指した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 環境調和型まちづくり推進事業（5,007千円） 住民まちづくりグループの活動等、エコアイランドなおしま推進委員会が実施する環境と調和したまちづくり活動を支援した。</p>	<p>廃棄物の埋立処分量の削減、雇用の創出、住民主体の環境と調和したまちづくりの機運醸成、交流人口の拡大など、地域活性化を図った。</p> <p>有価金属リサイクル施設の見学者数 H16～R5年度累計 23,440人</p>
<p>豊島処分地維持管理等事業（4-5-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 平成12年6月に成立した調停条項に従い、安全と環境保全を第一に、関係者の理解と協力のもと、令和4年度末までに処分地の整地工事を完了したことから、令和5年度は豊島処分地への雨水の浸透等による自然浄化により地下水の環境基準の達成に向けて、水質モニタリングを継続するとともに、処分地の維持管理等を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 豊島処分地維持管理等事業（8,944千円） 豊島処分地において、地下水の水質モニタリングを継続するとともに、処分地の維持管理等を行った。</p>	<p>豊島廃棄物等の処理量 H15～R5年度累計 912,989トン (うち汚染土壌 13,245トン)</p> <p>〔新たに見つかった廃棄物を令和元年度に処理後、処理量は増えていない。〕</p>